

セイリン工場バスツアーに参加して

A先生

「私は、早速 今朝の患者さんに「鍼・製造過程」の説明をさせていただきました。患者さんの反応も良好。この話、使えますよ！」

B先生

2月11日（火）に愛知県鍼灸専門師会主催のセイリン工場バスツアーに参加しました。鍼灸学校の学生時代に艾の工場見学に参加したことはあるのですが、鍼工場の見学は初めてだったので、当日がすごく楽しみでした。

静岡の清水工場に着いて、現場の責任者の方から鍼を作る工程の説明を受けました。

鍼を作る工程は

素材の購入→匡正（きょうせい）→切断→研磨→洗浄→組立→包装→滅菌→出荷検査→出荷

の順で行われ、パワーポイントを使った説明を事前にして頂いたおかげで、工場見学をした際に工程が頭に入っていたので、すごく分かりやすかったです。

工場見学では組立・滅菌・出荷検査の工程を見学させていただきました。

組立では鍼の鍼柄と鍼体を機械が一瞬のうちに接合し、包装まで行っていました。見学前はものすごい大きな機械を想像していたのですが、鍼が小さな製品のため、組立の機械は予想よりコンパクトでした。一つの機械で一日8～12万本くらい生産出来るそうです。人の体に刺さる鍼のため、衛生面にはすごく気を使っており、洗浄を行ってから人の手が触ることはなく、機械がすべて作業するそうです。

滅菌の工程では、包装が終わった製品を11時間程エチレンオキサイドガスで滅菌を行います。

出荷検査では、機械だけでなく人の目でも検査を行うことで、機械による間違いがないかをチェックしているそうです。

実際に現場を見ることで、セイリンの「安心・安全」を実感することが出来ました。食べ物でもそうですが、実際に作っている方の顔が見えると安心します。自分の使っている製品の生産現場を見ることは、より鍼への愛着が湧くと共に、患者さんにも自信を持って使っている鍼の説明が出来ると思います

最後に今回のツアーを企画して下さったセイリンの皆さん、ツアーを取り仕切って下さった愛知県鍼灸専門師会の先生方、本当にありがとうございました。

C先生

2月11日、愛知県鍼灸専門師会の鍼工場見学ツアーに参加しました。見学場所は、静岡市清水区のセイリン株式会社。7時50分に金山総合駅に会員27人が集合。マイクロバスで静岡に向かいました。11時からセイリン工場近くの武蔵で早めの昼食。天ぷら定食、刺身定食、まぐろ漬井の中から選べたのですが、私はまぐろ漬井を食べました。ご飯よりもまぐろが多いくらいで、同じものを選んだ先生方も満足しておられました。

そしていよいよセイリン本社へ。

社名は、清水のセイと、創業者であり現会長の鈴木毅氏の鈴を取ってつけられたそうです。鍼を作る工程をパワーポイントで説明されたのですが、鍼の元になるステンレス鋼線や、直線加工をした段階の美容鍼に使う細い糸のような接断前の鍼にも触れさせていただくことができました。その後バスで清水工場に移動。組み立てラインは、人の手が製品に触れることのないよう、鍼体と鍼柄（リュース）の組み立て、鍼管の溶着、包装、箱詰めまでロボットがしていました。また、不良品がないか、異物が混入していないかも、ロボットが厳しく検査していました。ブリスター包装（錠剤やカプセルのように、裏紙をはがすと中身が出てくるような作り）の裏面には、一本ごとにロットナンバーと使用期限が印字され、四年間ロッカーにサンプルが保存されているため、何か問題が発生したときにはすぐに対処できるそうです。私が工場見学をさせていただいて最も驚いたのは、一本ずつ包装し、箱詰めしてからエチレンオキサイドガスによる滅菌をするということ。治療直前に箱から鍼を取り出すまでは、一切人の手に触れることはありません。パッケージの裏紙が編み目状になっているため、エチレンオキサイドガスは通り抜けて鍼を滅菌することができますが、外から細菌やウィルスが入り込むことはできないそうです。そして、ガスは滅菌後は排出されるので安全です。ただし、この編み目は水に弱いので、手指を消毒するときにエタノールをこぼしてしまい、かかってしまったような場合は使わないほうがよさそうです。水に触れなければ、四年間は細菌やウィルスは入り込まないそうです。

よく患者さんから「先生のところの鍼は感染の心配はありませんか？」と質問されます。私はその度に「患者さんに鍼を通して感染する可能性よりも、私たち鍼灸師のほうが感染の危険性が高いですよ。私は、患者さんのためというよりは自己防衛のために、コストはかかっても安全な鍼を使用しています」とお話しています。

セイリンは国内トップシェアを誇る使い捨て鍼メーカーです。セイリンの鍼は進歩し続け、刺入するときの痛みも少なくなってきました。また、鍼先からもより微細な情報が伝わりやすいよう改良されてきているように感じています。「かゆい所に手が届く」といった施術ができるようになりました。鍼を刺入すると、鍼先から内部の状態が私たち治療家の手に伝わってきて、血液の流れをよくしたり、神経の興奮を緩和したり、筋肉をほぐしたり、逆に緊張感を持たせたりして身体を整えます。鍼先から伝わってくる情報が多ければ多いほど、よい治療ができます。

セイリン工場を見学させていただき、改めてこれ以上に安心、安全で使いやすい鍼はないことを実感できました。工場見学の後、質疑があったため、私は「撚鍼なので、鍼管がない鍼を作ってもらえないか」とお聞きしたところ、海外向けにはあるけれど、太い鍼しか需要がないため、国内向けには作っていないということでした。また、点字表記が「すん3 2 ばん」のようになっているので「すん3 2 番」のように続けて書いてほしいと要望してきました。

その後、清水魚市場おさかなセンターでお土産を買って、午後6時に名古屋に戻ってきました。行きも帰りもバスの中ではビンゴゲームやクイズをし、私はセイリンのパイオネックス（置き鍼）300本をGET！パソコンの画面から目を保護するメガネも当たったのですが、スマホを持っていないという先生が当たったスマホ用イヤホンマイクと交換しました。

D先生

先日は、セイリン工場見学ツアーに参加させていただき、有り難うございました。車中も楽しく、昼食もとてもおいしく、工場見学も充実したものでとても満足しました。

翌日の診療に於いて、患者様に、鍼の品質の素晴らしさや、製造管理、滅菌工程などをお話ししたところ、とても安心されていました。私たち鍼灸師も、素晴らしい鍼を使用していることに誇りが持てたこと、また、このように素晴らしい鍼を使用しているという事から、患者様の満足度や、私たちに対する信頼感もより強くなったようです。

ほんとうにありがとうございました。

取り急ぎ、御礼申し上げます。

